

南阿蘇村議会だより

すいげん

みなみあその今と未来を発信

令和4年
2月1日発行

Vol.56

12月定例会

- ② 「子育て世帯 10万円 一括支給」第4回定例会 第4・5回臨時会
- ③ 「村有施設の現状と新たな取り組み」 特集
- ⑤ 「ずばり村政を問う」 一般質問
- ⑨ 議会活動
- ⑫ 村が取り組むSDGs



2月中旬までライトアップ!!
♡恋はつづくよ どこまでも♡

Q.CMで使われた場所!?

※答えは12ページ

子育て世帯へ 10万円 現金一括支給!!

一般会計補正予算5億8823万円 総額で138億7382万円に

【令和3年第4回定例会】

12月定例議会は12月6日から12月10日まで5日間の日程で開催された。

令和3年度一般会計補正予算など（条例12、予算4、その他2）を原案通り可決。

議会発議の会議規則改正案1件（タブレット端末導入等）を可決。

一般質問には4名の議員が登壇（P5～P8）行政の諸問題を質問した。

主な 補正予算

新型コロナウイルスワクチンの3回目接種関連費用 …… 3793万円

小規模住宅地区改良事業 …… 3億4453万円

子育て世帯への臨時特別給付金 …… 6350万円

南阿蘇村教育資金利子補給金交付条例を廃止する条例の制定

質疑 辰巳 和美 議員

制度を認知している方が少ないこと。ローンを借りている人が裕福とは限らない。行財政改革も承知しているが、少しでも子育て世代の応援が出来る事を望みます。

【第4回議会臨時会 令和3年10月14日】

議案	審議内容	議決日	審査結果
承認第11号	専決処分事項の承認を求めることについて	10月14日	承認
議案第82号	令和3年度南阿蘇村一般会計補正予算（第6号）の議決について	10月14日	原案可決
議案第83号	工事請負契約の締結について	10月14日	原案可決
議案第84号	工事請負契約の締結について	10月14日	原案可決

【第5回議会臨時会 令和3年12月20日】

議案	審議内容	議決日	審査結果
議案第103号	令和3年度南阿蘇村一般会計補正予算（第8号）の議決について	12月20日	原案可決

（補正予算：子育て世帯への臨時特別給付金、台湾交流促進事業）

村有施設の現状と、村の新たな取り組み

瑠璃温泉と四季の森温泉の現状

白水温泉瑠璃

新型コロナウイルス感染症の影響による、宿泊客減少等の影響を受け、瑠璃温泉は令和3年11月末日より、「宿泊施設」及び「レストランくらら」を休業しています。なお温泉施設のみ従来どおり営業中です。



阿蘇白水温泉 瑠璃

四季の森温泉

四季の森温泉は、令和2年2月1日から、通常営業を行っているが、瑠璃温泉と同様、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、宿泊客が減少しています。



南阿蘇久木野温泉 四季の森

議会は、上記のような問題を重要課題と受け止め、アフターコロナを見据えた新たな協議を進めていきます。

その足がかりとして

台湾との交流促進について

現在、村では、旅行・観光を中心に台湾との交流を進めています。台湾の企業TSMC（※P5）が菊陽町に進出することから、大きなチャンスと捉え、今後、さらに交流を深めてまいります。

南阿蘇村在住の台湾出身のヘレンさんによる「台湾について学ぶ」講座を開催しています。

紹介 ホアン・ヤティン（ニックネーム：ヘレン）

出身 台湾中部にある台中市のご出身。

経緯 平成30年8月から令和3年8月まで、南阿蘇村地域おこし協力隊として、インバウンド対策プロジェクト担当で活躍されました。現在も村に在住し、活躍されています。

※インバウンドとは…外国人の訪日旅行



台湾講座



講師を務めるヘレンさん

定例会4日目（12月9日）総務、文教厚生、経済建設の合同常任委員会を開催。第4回定例会に上程された議案について執行部に詳細な説明を求めた。

条例制定等

あそ望の郷（物品販売）条例の一部改正とは 〈河内委員〉

現在、出荷協議会235名の会員で運用しており、今回の手数料改定15%→20%と5%が非常に大きく、多くの方に影響を与える。改正案の中身・今後の運用は。

〈農政課長〉

消費者の利便性の向上を図るため現在電子決済が導入され手数料無料となっている。今年10月からキャッシュレス決済が有料化となり、適正な運営を長期にわたっていくには、使用料の改正が必要となっている。来年度以降1%の値上で16%に、出荷者の収入減とならないよう、販売額に手数料分を上乗せしてお願いしたい。出荷協議会と話し合いを行い、今後改革を進めていく。



道の駅あそ望の郷直売所

教育資金（利子補給金）の廃止は 〈辰巳委員〉

コロナ禍でバイトが出来ず、親からの支援が余儀ない学生たちも増えている。周知の方法を考え、対象者を短期大学・専門学校生等々広げての適用は。

〈子育て支援課長〉

教育資金の利子補給を目的としており、近年制度化で高校無償化により役割は小さくなっている。利用者平均年度8.2人（1.6%）現経過措置対象者4人となっており、一旦条例を廃止し新たに制度を充実させて支援策を協議する。

令和3年度一般会計補正予算

賃貸住宅新築整備促進事業 〈丸野委員〉

賃貸住宅の整備促進事業で2LDK10戸分が補助の対象となるはずだが、5戸分だけで不公平感がある。

子育て世代の受け入れ目的もあり、5戸分を来年度の予算に繰越にしている。

〈定住促進課長〉

補助金要綱にて年度内3月31日完成との条件もある、工期の関係もあり協議をして承諾を得ている。

村単独事業であり、予算の範囲内だと考えている。

〈副村長〉

通常、民間住宅では市場原理に基づき建てられる。

子育て施策への応援の観点で行っている。財政状況を踏まえ、上限額を設ける必要がある。

子育て世帯への臨時交付金村

〈今村竜喜委員〉

給付時期はいつか。また、現金支給なのかクーポン券か。

〈子育て支援課長〉

児童手当対象者には、申請次第、随時現金にて支給する。（※令和3年12月第5回議会臨時会にて10万円一括現金支給を可決 P-2参照）

その他の質問・要望

〈橋本委員〉

通学路における点検・安全対策は。

〈笠野委員〉

飲料水供給施設等設置条例等の改正とは。

〈河内委員〉

特別交付税12月配分と内訳は。

〈丸野委員〉

簡易水道特別会計補正予算の雑収入は。

ここが聞きたい ずばり村政を問う!

一般質問は、会議録に基づき、質問者本人が編集し、議会広報特別委員会で構成し、掲載しています。詳細は、会議録の閲覧ができます。

一般質問

ここが聞きたい ずばり村政を問う!

笠野 眞喜議員



※写真撮影の為マスクを外しています。

TSMC熊本進出を活用した人口増加策は?

笠野議員

2040年までに人口が5割以下となる消滅可能性地域に南阿蘇村は入っており、年々人口減少が進む現状を打破しなければ村の衰退は確実だ。

菊陽町に進出が決まった台湾の世界的半導体製造メーカー TSMCは1500人が採用される。TSMCと共同事業会社のソニーの就職者を対象に戸建て住宅、宅地斡旋、マンション建設を行い、人口増加策を図るべきだ。

また、村有地・未使用施設・湧水・温泉もあるので、関連企業、保養施設の誘致も人口増加策だ。村として3年後に向けた取り組みと、進出企業の交渉窓口として準備室・係の設置をしては。

村有地を有効活用し活性化を図る

定住促進課長

工場勤務者と家族が転入することは大歓迎だ。村に居住するためには土地が必要となる。

村営住宅は老朽化が著しく、修繕費が高額となっている団地から順次解体を進める計画であり、立野駅区にある立野団地駅下2階(16戸)は来年度中に解体し更地にする予定。立野地区はJRも利用でき新工場へも通勤圏内であり利便性も良い。この土地を民間活用を含め検討・利活用し、立野地域の活性化を図りたい。

村有地を売却し、民間に住宅を建設してもらう件は要望があれば大歓迎であり、相手方とのコンタクトとアピールが必要だと考える。

村 長

当面は定住促進課を窓口とする。

子ども広場・公園整備計画は?

笠野議員

村は20～30歳代の人口流入を目指し、子ども医療費の無償化等様々な支援を行っており、県内進出企業にも子育てに特化した村であることをアピールし交渉すべきだ。

以前から子ども広場、公園整備を要望しているが実現していない。子どもから高齢者まで十分な体力を育める公園を是非整備していただきたい。

建設計画を問う。



あそ望の郷芝生広場

村にふさわしい遊び場づくりに取り組む!

村 長

子ども広場の計画は今まで2回質問があり、あそ望の郷の一角に計画したいと答弁してきた。

現在、「あそ望の郷みなみあそ」東側に駐車場の整備計画と併せ、拡張予定地北側に芝生広場を計画している。完成は令和5年度となっており、整備に併せ草スキーなど子ども達が遊べる広場機能を付加していく。

村には草原・河川・遊水地等たくさんの自然、公園や展望台等整備された場所もある。

自然の中で伸び伸び過ごせる空間と触れ合える場所など、南阿蘇に現存する大自然を活かすことが村にふさわしい公園の姿だと考える。今後も遊び場づくりに取り組んでいく。

※TSMC(台湾積体回路製造)とは…

半導体の受託生産で世界最大手メーカーで、菊陽町に日本初の工場が建設されることが決定した。投資額は7～8千億円で半額は国が補助する国家的プロジェクトと言われ、2024年に稼働予定。雇用も1500人が見込まれ、近隣自治体への波及効果が期待されている。



市原 恵一議員

※写真撮影の為マスクを外しています。

感染症対策を踏まえた 避難所の取組みは

市原議員

自然災害等が発生した場合、新型コロナウイルス感染症を考慮した避難所のあり方、運営はどのような対策・対応を考えているのか。

避難所を増やし分散

総務課長

避難所運営時のコロナ感染症対策として、密を避けるため数を増やして避難者を分散させ、感染防止備品を整備して感染対策を進めている。

令和2年度以降は、避難者数や気象状況により3段階に最大15か所を開設している。また地区公民館を利用し自主避難所を6か所確保している。今後は、身近な所で安全が確保できる場所への避難も呼びかけ、広報誌やホームページに掲載し周知を行っている。

避難所の備蓄品の配備状況は

市原議員

避難所開設運営用品、初動対応用備蓄品・保存食・保存用飲料水の配備、備蓄状況は。

村内7か所に配備

住民福祉課長

運営用品は、避難者名簿、緊急セット、懐中電灯等を全ての予防的避難所に配備している。

備蓄品の配備は、庁舎倉庫、長陽中央公民館集会所、高野台防災公園内倉庫、旧立野小学校体育館、



役場敷地内災害用備蓄倉庫

旧白水小学校校舎、久木野体育館、総合施設LOOPみなみあその7か所に、トイレットペーパー、簡易トイレ等の衛生用品、毛布、マットレス等を備蓄している。

保存食、保存用飲料水は「南阿蘇村地域防災計画」に基づき、賞味期限が5年間の為、令和元年度より5ヶ年計画で購入、想定避難者数1000人の3日分、保存食9000食、保存用飲料水4000リットルの備蓄計画、備蓄管理を努めている。



体育館に保管された災害用備蓄品

災害弱者への対応は

市原議員

高齢者、障がい者、乳幼児など災害時、自ら避難できない住民の把握は、避難・援護をどのようにしていくのか。

関係機関と連携

住民福祉課長

自ら避難することが出来ない優先度の高い避難行動要支援者は、個別避難計画書の作成が市町村の努力義務となり現在作成を進めている。令和3年10月末時点で507名が要支援者として登録されている。

また、社会福祉協議会の事業で「緊急連絡カード」の見守りシートを配布・管理し、もしものために見守り活動を行っている。今後も、有事の際に災害弱者の方々が避難できずに取り残されることがないように、関係機関と連携を図りながら対応に努めていく。



緊急連絡カード

橋本 功議員



※写真撮影の為マスクを外しています。

行政改革の見通しは

橋本議員

これまで村民とともに守り育ててきた環境を維持していくことが村民の総意であり、そのためには住民の暮らしやすさを正しく把握し、満足度を知ることは行政運営本来の意義と考える。本村も住民の暮らしやすさを把握するため住民意識調査アンケートを実施されたと思うがどうか。村長が掲げている将来像「誰もが住みたい、住み続けたい南阿蘇村」の説明を。

また三役の給料減額など身を切る覚悟で財政改革を示されていたが、行政改革に必要なのは、事業の効果検証や見直しなど、政策に反映させる仕組みである。財政改革の強い姿勢で臨むと示されているが、進捗と今後の見通しは。

具体的な政策はこれから進める

村 長

村の将来像は、村民の誰もがいつまでも住み続けたい、魅力ある村、次世代を担う子どもたちに本村の未来をつなぎ愛着と誇りを持てる村を目指すものである。具体的には、3つのK、環境・活力・暮らしを政策の柱として、政策はこれから進めていく。また、給与減額は、職員の危機管理意識の高揚、村民には財施の厳しさに理解を求めるために打ち出した。今後も職員と一丸となって行財政改革に取り組む。

総務課長

村の財政の硬直化を示す経常収支比率は、災害復旧事業で借入れた地方債の償還が本格化したことから令和元年度は100.5%となった。このことから令和2年度は、遊休公共施設の一部を解体及び売却を行った。令和3年度は、第3セクター施設の民営化に向けた取り組み、歳入では企業版ふるさと納税の強化に取り組んでいる。村の財政を健全で持続可能なものとするため今後も行財政改革を進めていく。

小中学校の二学期制導入検討は

橋本議員

二学期制は、4月～10月までを1学期（前期）、数日間休みを挟んで3月までを2学期（後期）とする。これにより、始業式、終業式、評価業務などが三学期制より1日ずつ減り、減った授業時間を増すことで学校教育改善をしていく。二学期制を導入することにより多くの改善がされたと報告してあるが、一方で不安材料もあると思う。二学期制導入の考えは、授業時間の確保、学校行事の見直しで教職員の負担軽減を図られる。生きる力を育む学習指導要領において授業時間の削減など、学力低下を懸念する声もありその解消のため二学期制導入の狙いもあると言われるが、改善を図るために導入を検討しては。また、その際のメリット及びデメリットは。

関係者の意見を聞き検討する

教育長

熊本市を除いた県全体では、小学校の65%、中学校の71%が三学期制をとっている。三学期制は、夏休みを短くし終業式を早めることにより、授業の減少を補完している。二学期制のメリットは、通知表が2回の発行、テストは年度に2回、先生や児童生徒の負担が少なくなり、精神的な余裕ができる。デメリットは、学期途中で長期休業、通知表やテストが減る。三学期制のメリットは、学期の間に長期休業があるためメリハリがあり生活リズムが作りやすい。二学期制導入は、三学期制の良さを活かしながら学校職員、保護者、地域の意見を聞き、学習効果を高めるにはどちらが良いかを引き続き検討する。





※写真撮影の為マスクを外しています。

辰巳 和美議員

白水小プールの改修予定は

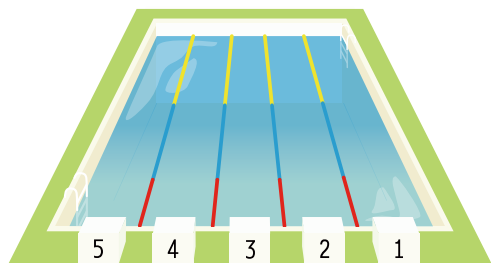
辰巳議員

旧白水小まで移動するので授業時間が短くなり、特に低学年は体力的な負担への懸念がある。改修の際プールも小学校用にすべきだったのでは。今後改修予定はあるのか。

改修を視野に調査中

教育委員会事務局長

令和元年9月第3回総務部会で協議した内容は、旧白水中プールの、ろ過機故障及び深さが中学生仕様であることから当面白水小プールを使用すると結論。今後、既存のB&Gプールを利用するなど長期的な視点で検討したが、将来的には中学校プールを使用することが望ましい。改修を視野に入れ調査中。旧白水小の、ろ過機移設が可能。しかし、ろ過機移動だけでなく深さの規格改修工事、シャワー・トイレ、また水道施設の改修が必要。総予算額を算出し関係部局と協議していく。



多様な子ども達を支える 支援学級の充実は

辰巳議員

小中学校を視察し、村には手厚い配慮をいただき感謝の言葉も聞かれた。一方で、教室及び支援員の増加を望む声も聞かれた。多様な学び場を用意する事で学級の運営が円滑に進み、習熟度も向上する。今後、教室の増設と支援員の増加の考えは。

共生社会の実現に取り組む

教育委員会事務局長

近年、支援学級が増えている要因として、平成25年「学校教育法施行令」が改正。

障がいのある児童・生徒は保護者や本人が地域の小中

学校を望む場合、その小中学校へ通っていいことになった。家庭の諸事情で地域の学校へ通いたいと希望する家庭が増え、支援学級が増加した要因のひとつ。南阿蘇西小は、本年4月、教室が不足したためプレハブを設置し児童の学習環境を整備。今年度、村の支援員を1校当たり3名配置。来年度は、障がいの内容や程度により一律3名とはせず、増減も考慮し、学校と協議を重ね保護者のニーズを踏まえ、子ども達が生き生きと活躍できる共生社会の実現に取り組んでいく。

街灯の設置計画は

辰巳議員

大津・高森町はLED化が進んでいるが、村内は既存の街灯が目立つ。LEDの寿命は約10年と言われて、球切れもなく作業や維持管理を大幅に削減できる。コストパフォーマンスの面でもメリットが非常に高い。各街灯の機能も踏まえ、いつまでにLED化を目指すのか。また、通学路に増設する計画は。

地域住民の声を聴き整備していく

総務課長

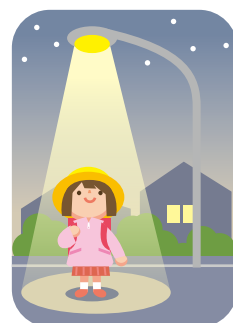
街灯は原則、区長等の要望に基づき設置及び修繕をしている。周辺の住環境にも影響を与えるため、設置の要望を取り下げるケースもある。地域の実情に詳しい区長等が、住民と協議したうえでの要望となる。毎年度約800万の予算を確保し新設、修繕を行なっている。

平成24年から新設の場合LED、既存の街灯は劣化に伴う修繕時に随時更新。

まだ不十分だが、最低限必要な場所に設置が進んでいると認識。街灯は地域の犯罪抑止、安全確保に資するものなので、今後も地域住民の声を聴き整備していく。

教育委員会事務局長

通学路は、安全点検や安全確保の基本方針の策定や効果的な取り組みを推進する「南阿蘇村通学路安全推進委員会」で、令和元年・2年度に保護者アンケートを実施。その際、要望があった箇所は可能な限り適宜LEDを設置。今年度、各機関と合同点検を行い、要望があった箇所は、現在対応中。



議会活動

【文教厚生常任委員会】

再エネ導入戦略策定協議会 (令和3年11月16日、12月21日)

○委員5名全員が協議会委員に

～脱炭素化に向けて、
再生可能エネルギー導入戦略策定を検討～

2050年までの脱炭素化を見据えて、南阿蘇村では再生可能エネルギーの導入目標を定め、村の特性に応じた地域再エネ導入戦略を策定するため、標記協議会を設置、委員全員がメンバーとなった。

協議会では、①小水力・地熱発電等再生可能エネルギー導入又は温室効果ガス削減のための取組に関する基礎情報収集と現状分析 ②村の特性を踏まえた将来の温室効果ガス排出量の推計と将来ビジョン・脱炭素シナリオ ③将来のエネルギー消費量を踏まえた再エネ導入目標を実現するために必要な政策及び指標の検討等を行う。

学習会（12月21日）も実施し、1月末までに導入戦略を策定予定である。



再エネ導入戦略会議



再エネ導入戦略に関する学習会

【文教厚生常任委員会】

湯の里荘、はくすい保育園視察 (令和3年11月22日)

○委員5名、子育て支援課2名、
健康推進課1名、議会事務局1名

～安心・快適な人生をお送りいただくために！～

3年前、両併地区に新築移転した養護老人ホーム「湯の里荘」を視察した。施設長から概要・入所者の状況説明を受けた後、設備と入所者の生活を見学した。現在入所者は50名（村内23名）でスタッフのご尽力で「安全・安心・快適」な生活を送っておられた。また、介護が必要な入所者は他の事業所介護サービスを有効利用されている。



施設長から概要説明

～村の宝 園児の安全確保のために！～

はくすい保育園では、子育て支援課職員、園長と共に園舎入口からプロムナード（歩道）設置の検討、並びに園内危険箇所調査を行った。特に園児の安全を第一に、緊急時の園児引き渡しは職員室裏（北側）になるので、屋根設置の必要性検討、浄化槽・マンホールの蓋劣化による交換を要望した。



はくすい保育園現地視察

議会活動

阿蘇立野ダムみらい活性化対策特別委員会

(令和3年11月9日火曜日)

○正副議長、委員5名、事務局1名、
建設課2名

～フォレストアドベンチャー美里、溪流ヴィラ ITUKI 視察～

フォレストアドベンチャー美里は、指定管理だがログハウスやジップラインなどの修繕等に、多額の一財が投入してあるため、指定管理料が無料であっても、将来さらに財政を圧迫するのではないかと感じた。

次に、五木村の溪流ヴィラITUKIを視察。支配人並びにスタッフに熱意があり、観光客が右肩上がりなのは納得した。



フォレストアドベンチャー美里の説明を受ける委員



溪流ヴィラITUKIの説明を受ける委員

議会広報特別委員会

(令和3年12月15日～17日)

○委員6名、事務局1名

東京研修

株式会社 日経BP

日経トレンディ編集委員 行武 知子 様

トレンディ雑誌・編集委員の行武様より講習を受け、編集におけるポイント等を学んだ。特に、人材の紹介は、村外在住の方に「外から見た南阿蘇」と題して意見を頂くのもおもしろいのではとのこと。その他に南阿蘇村の先人の言い伝えなどを記事にする事で後世にも残せるのでは、などの意見を頂いた。



株式会社
日経BP

日刊スポーツ新聞社

スタートアップ室 室長 平井 勉 様

日刊スポーツのプロ野球専属記者を経て、現在スタートアップ室長の平井様より講習を受けた。記事内容として、「～つなぐ～」を連載記事にすると子どもから高齢者へ、また高齢者から子どもへといった内容でピックアップしていくことができ、広報紙を見て頂く方が増えるのでは、と意見を頂いた。



日刊スポーツ
新聞社

内閣府地方創生推進事務局
参事官補佐 塗師木 太一 様

企業版ふるさと納税の取組みについて

企業版ふるさと納税の仕組みを再度確認するため、塗師木参事官補佐より講習を受けた。一番の難点は企業に南阿蘇村を知ってもらい、協力頂ける事業内容の説明が大事とのこと。全国的に財政難の中、企業より自治体へ納税頂く仕組みを有効に活用すべきだと再認識した。

企業版ふるさと納税



内閣府地方創生推進事務局

総務省
事務次官 黒田 武一郎 様

黒田氏略歴

総務省入省、熊本県副知事、大臣官房長、自治財政局長、消防庁長官、総務省事務次官

黒田事務次官から今、全国の自治体が抱える課題（地方議会のなり手不足、高齢化、マンパワー不足等）と国、総務省の役割について詳細に説明があった。国はマイナンバーカードの普及に力を注いでいるが、デジタル化を見据え、証明書類、オンライン申請、身分証明、オンライン取引、各サービスコンビニでの各書類取得できる。これは、職員数の少ない自治体では窓口業務が簡素化し、企画・防災等の業務に職員を回す（配置）など、大きなメリットがある等。



総務省

東京消防庁本所防災館視察

防災館職員から施設概要の説明を受けた後、館内の体験・見学コーナーを視察。児童・生徒・住民が体験しながら楽しく学べる施設の重要性と、展示してあった啓発冊子「東京くらし防災」、各個人の避難行動計画「東京マイタイムライン」は村でも作成の必要性を感じた。

防災館



東京消防庁本所防災館

村が取り組むSDGs

熊本県南阿蘇村「阿蘇の景観と地下水を守る事業」



- 背景
- 現状の課題
- 事業の目的
- これまでの取組

世界に誇る阿蘇カルデラ
阿蘇の**景観**と**地下水**はカルデラの中で暮らす人々が農業を営むことで、千年以上守られてきた。

農業従事者の減少や高齢化などにより

【草原】野焼き面積の減少⇒ヤブ化の進行

【水田】耕作面積の減少⇒ヤブ化の進行

これらにより、素晴らしい景観が損なわれるだけでなく水源涵養力も損なわれることで大切な命の水も減少していくことに繋がる。

そこで、次の千年をつなぐ持続可能な仕組みが必要！

詳しくは、お時間がある際に右記QRコードより動画をご覧くださいと幸いです。



◎野焼きボランティアのお力を得て、野焼き関連の作業をどうにか実施してきた。

南阿蘇村は、第60回認定（令和3年7月9日認定分）において、内閣府より地域再生計画の認定を受け、企業版ふるさと納税を受け入れ可能となりました。

今後2025年3月までの期間、本村の認定を受けた地域再生計画の「南阿蘇村まち・ひと・しごと創生推進計画」に基づき、SDGsに特化した取り組みを進めていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



編集後記

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

新年になり、私達広報委員も一年が過ぎました。

コロナ禍の中、ワクチン接種も3回目に入っています。

早く、落ち着いて、経済そして皆様の生活が良くなり、日常の生活に戻ることを祈るばかりです。

これからも存在感ある広報紙づくりに努めてまいります。

坂田 正也

議会広報特別委員会

- 委員長 今村 輝宏
- 副委員長 市原 恵一
- 委員 河内 克也
- 〃 坂田 正也
- 〃 岡 智則
- 〃 辰巳 和美

発行責任者

議長 桐原 純男

答え：南阿蘇鉄道 みはらしだい 見晴台駅 KIRIN「午後の紅茶」のCM撮影が行われました

